



大阪肩関節鏡フォーラム

Shoulder Arthroscopy Forum of Osaka

[トップページ](#) | [ごあいさつ](#) | [プログラム](#) | [事前参加登録](#) | [交通案内](#) | [SAFO世話人](#) | [沿革と歴史](#)

大阪肩関節鏡フォーラム2023

会期：2023年 3月 18日(土) 13:00-17:00
会場：コングレコンベンションセンター ホールA
〒530-0011大阪府北区大塚町3-1 グランフロント大阪 北館6F TEL.06-6292-6911
会長：谷口 昇（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科整形外科）



ごあいさつ

大阪肩関節鏡フォーラム2023 (SAFO2023)
会長 谷口 昇
鹿児島大学大学院医歯学総合研究科整形外科



この度、大阪肩関節鏡フォーラム2023 (Shoulder Arthroscopy Forum of Osaka: SAFO2023) を令和5年3月18日（土曜日）にグランフロント大阪で開催いたします。

2020年、2021年とコロナ禍による中止を余儀なくされましたが、2022年は3年ぶりになんとかWeb配信という形で開催されました。

しかしながらコンプライアンスが厳しくなる昨今、協賛企業の撤退により継続が困難な状況となっております。

このたび、Arthrex Japan株式会社から長期的な視野でご協力頂けることになり、今までのSAFOの形態を変えることなく継続していけることとなりました。

新生SAFOとして再出発することになったその節目の回に会長を務めさせて頂くことになり、大変光栄に存じます。

パネルディスカッションIのテーマは「画像診断で腱板断裂の情報はどこまで得られるか？」と致しました。

単純X線による肩峰骨棘や骨頭偏位、造影剤注入による確定診断、MRIによる正確な断裂部位とサイズの検出など、時代とともに画像診断は進歩してきました。

最近では運動器エコーの登場により、外来診療において瞬時に診断が可能となり、動態による拘縮やインピンジメントの評価に止まらず、不全断裂の性状などより詳細な情報が得られるようになりましたが、一方で一般診療レベルまで普及しているとはいえず、非常に温度差のある分野です。

また、エラストグラフィーや放射状MRIなどに関しては、その特長の理解が追いつかず、限られた施設でしか利用されていないのが現状です。

このセッションでは、腱板断裂の画像診断ツールとしての最先端の技術と知識を皆で共有し、併せて肩甲下筋と小円筋にフォーカスした画像診断も解説して頂き、腱板修復術の適応やその術式選択の参考になればと考えています。

特別講演は、今最も脂が乗っている山門浩太郎先生（福井総合病院）に「肩関節外科は何処へ向かうのか、何処へ向かうべきなのか」という壮大なテーマについて、若手代表の立場からお話し頂きます。

数々の症例を経験し、オリジナルな術式を編み出してきた先生であるからこそ思う肩関節外科の展望について拝聴しながら、将来的なビジョンと我々が向かうべき方向性について考える契機になれば幸いです。

パネルディスカッションIIのテーマは「腱板断裂に対する治療戦略－インピンジメント肯定派vs否定派－」と致しました。

インピンジメントは腱板断裂の診断において重要な所見ですが、実際にその病因となり得るのか、それとも結果なのか、腱板修復術を行う際にはどのような手技を用いて、どの程度介入していくべきか、未だにコンセンサスは得られておりません。

これまで学会等において部分的に取り上げられる機会があっても、各種インピンジメントと腱板断裂との関わりに焦点を当てたセッションはありませんでした。

本会では改めて肩峰下インピンジメント、烏口突起下インピンジメント、インターナルインピンジメントの3つの病態について整理した上で、否定派、肯定派の立場から各演者にそれぞれの考え方、治療戦略について述べて頂き、肩インピンジメントの真実に迫りたいと考えています。

臨床現場でご活躍の先生方のご意見に加えて、井樋栄二先生（東北労災病院）にも加わって頂き、学問的な立場からの考え方も拝聴できる貴重な機会になるかと存じます。

3月下旬の西日本は桜が開花し始め、春の訪れが感じられる時期です。大阪で皆様とon siteでお会いし、肩に関する熱いディスカッションができますことを心より願っております。

[TOPへ](#)

大阪肩関節鏡フォーラム事務局

〒543-8922

大阪府大阪市天王寺区烏ヶ辻2丁目6-40

第二大阪警察病院 スポーツ医学センター内

代表世話人：米田 稔（柏たなか病院 英会関節センター）

事務局：廣瀬 毅人（第二大阪警察病院 スポーツ医学センター）